

熊本県交通安全協会

県内の交通事故（令和元年8月31日現在）

区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	2,710	36	3,407
昨年	3,156	33	4,026
増減	-446	+3	-619

交通安全協会だより 第572号

2019年10月（一財）熊本県交通安全協会
 発行所 熊本県交通安全活動推進センター
 電話(096)-233-2110
 ホームページアドレス <http://www.kumamoto-ankyo.com/>



☆ ひのくにピカピカ運動 ☆

令和元年10月10日(木)～令和2年1月31日(金)

(主唱 熊本県交通安全推進連盟)

運動の重点

- 反射材の活用
- 前照灯の早め点灯と上向き点灯の励行



運動の目的

例年、秋から冬にかけては日没が早まり、夕暮れ時から夜間にかけての交通事故が多発する傾向にあることから、広く県民に注意を喚起するとともに、特に「反射材の活用」と「前照灯の早め点灯」等の実践を促し、交通事故防止を図ることを目的としています。

推進事項

1 反射材の活用

- 夜間外出時の反射材の活用と明るい服装の着用

2 前照灯の早め点灯と上向き点灯の励行

- 夕暮れ時(目安は午後5時)は、前照灯を早めに点灯
- 対向車等いない時は、前照灯を上向き点灯



反射材グッズは、
 熊本県運転免許センター売店(2F)
 でも販売しています。



～反射材 自分をアピール 防ぐ事故～

回
 覧

秋の全国交通安全運動

運動の期間

- 1 令和元年9月21日(土)から9月30日(月)までの10日間
- 2 交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(月)

目的

本運動は、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

主唱

熊本県交通安全推進連盟



運動の重点

- 1 子供と高齢者の安全な通行の確保
- 2 高齢運転者の交通事故防止
- 3 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 4 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 5 飲酒運転の根絶

各地区の交通安全協会の活動

天草

天領保育園の園児(25人)、保護者、祖父母の三世代が一緒に参加する家族ぐるみの交通安全教室を宮地岳コミュニティセンターで開催し、シートベルトコンビンサー・わたりジョーズ君等の交通安全資機材を活用した、参加・実践・体験型の安全教育を実施しました。



大津

大津いちご保育園において、園児(120人)に対して、夏休み期間中における交通事故防止の交通安全教室を開催しました。

講習指導員の三池氏から、「道路の歩き方」・「横断歩道の渡り方」等について、仮の横断歩道を設置し、園児一人一人に対し参加・実践・体験型の安全教育を行いました。



第53回交通安全子供自転車熊本県大会

6月22日(土)、合志市総合センター・ヴィーブルにおいて、「第53回交通安全子供自転車熊本県大会」を開催しました。大会には、県内小学校から16チーム64人(1チーム4人)が参加し、学科テスト、実技テストを行いました。

県大会の結果は、次のとおりです。

団体	優勝	河原小学校	(西原村)
	2位	砂取小学校	(熊本市)
	3位	姫戸小学校	(上天草市)
個人	優勝	吉田 莉乃 さん	(河原小学校)
	2位	下田 莉緒 さん	(河原小学校)
	3位	井出 海心 さん	(めのだけ小学校)
	4位	三浦 友実 さん	(河原小学校)
	5位	中村 莉唯奈 さん	(河原小学校)



第54回

交通安全子供自転車全国大会

主催：一般財団法人 全日本交通安全協会、警察庁



8月7日(水)、東京ビッグサイトにおいて、「第54回交通安全子供自転車全国大会」が開催され、各都道府県の代表47チームが出場し競技が行われました。大会には、県大会で団体優勝した西原村立河原小学校チーム(吉田莉乃さん・下田莉緒さん・三浦友実さん・中村莉唯奈さん)が出場し、入賞はなりませんでしたが、団体で第18位と健闘しました。

～大会を終えて～

西原村立河原小学校 6年 吉田 莉乃さん

私の子供自転車全国大会での経験は、今年最後の自転車クラブとして、とても良いものとなりました。その理由は、三つあります。

一つ目は、暑い中でも、一生懸命練習したことです。運動場や体育館で楽しく、しっかり練習しました。大会では、いつもより、減点を多く取ってしまいました。落ちついてできたので良かったと思いました。

二つ目は、みんなと協力したことです。大会に出た選手は、声を掛け合い、大会に出なかった人たちは、大会に出る選手をしっかりと応援したりして、みんな協力し、笑顔で大会に挑むことができました。

三つ目は、実力を出し切ったことです。私は、大会に出るとき、出られない人たちの分まで、しっかりと実力を出して、やり切ろうと思って大会に出ました。結果、いつもは取らないような減点を取ってしまいました。これが私たちの大会での実力だし、全国大会の難しさなんだと実感しました。

このように、全国大会での経験は、とても良く、心に残る経験となりました。これからの小学校、中学校、高校生活にも生かしていけるようになりたいです。協力して下さった方々には、感謝しながら、これから生活していきたいです。

二輪車安全運転全国大会 2019

主催：一般財団法人日本二輪車普及安全協会

8月3日・4日、三重県鈴鹿サーキット交通教育センターにおいて、「二輪車安全運転全国大会2019」が開催され、高校生等・女性・普通二輪・大型二輪の4クラスに各都道府県の代表が参加して競技が行われました。

本県からも予選を勝ち抜いた4人が、それぞれのクラスに出場し、高校生等クラスの個人部門で「藤本絃幹」選手が8位に入賞しました。

個人8位

藤本絃幹選手 (矢部高校)



～危険だよ スマホに夢中の その君～

各地区交通安全協会の活動だより



熊本中央

運転免許証返納者には、パトカー前で撮影した写真を記念として提供



熊本南

田迎西支部にて、地域の高齢者を対象に交通安全教室を実施



熊本北合志

龍田支部にて、龍田小学校3年生を対象に交通安全教室を実施



玉名

第11回交通安全チャリティゴルフコンペを開催



荒尾

長洲町立六栄保育園児を対象に、横断歩道の渡り方などの交通安全教室を実施



山鹿

三岳地区老人会を対象に、交通安全講座を開催し、チラシ、反射タスキ等を配布



菊池

交通安全子供自転車菊池地区大会を開催



大津

熊本県立農業大学校にて、交通安全講話を実施



阿蘇

高齢者を対象とした振り込め詐欺防止・交通安全キャンペーンを実施



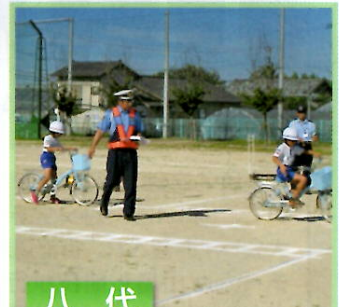
阿蘇南部

国道325号の宮崎県との県境付近において、交通事故防止キャンペーンを実施



山都

杉木地区住民の子供から高齢者を対象に、「交通安全講話」や「体験型講習」を実施



八代

金剛小学校にて、自転車の乗り方教室及び自転車通学ができる3級検定試験を実施



芦北

芦北町民総合センターにて、交通安全子供自転車芦北地区大会を実施



人吉

人吉地区交通安全協会の交通指導員に、交通指導に対する要領などの研修会を実施



多良木

地域の防犯・交通安全を祈願するため、地元の保育園児と七夕飾りを警察署の正門に設置



上天草

上天草警察署のピカピカ大使として、落語家「桂 伸三」の交通安全教室を実施

地区交通安全協会では、会員の皆様のご協力で地域における様々な交通安全活動を行っています。交通安全協会への会員登録をお願いいたします。



貴重な会費

(年間500円)は、あなたの街の様々な交通安全活動に使われ、大切な命を守っています。

～チャイルドシート ちいさなVIPの 指定席～